

光南高等学校創立 20 周年記念式典

福島県高等学校長協会会長祝辞

平成 27 年 10 月 17 日（土） 10 時
光南高等学校 第一体育館

ただいま御紹介いただきました、福島県高等学校長協会会長を務めております安積高等学校長の久保田範夫でございます。県高等学校長協会を代表いたしまして、お祝いの言葉を申し述べます。

光南高等学校の創立 20 周年を心からお祝い申し上げます。

また、本日、感謝状・表彰状を受賞された皆様に、重ねてお祝い申し上げます。

（奇しくも、本日午後 1 時から、郡山市のあさか開成高校も 20 周年を祝うことになっています。）

さて、私は新採用の只見高校時代から現在まで、新たに赴任した学校では真っ先に校歌を覚え歌えるように心がけてきました。それは、校歌の歌詞にその学校の創立以来の校訓や精神、スピリットが込められていることが多いからであり、また、校歌を歌うことでその学校と生徒を好きになれるからであります。

光南高校創立の年、平成 8（1996）年に制定された「校歌 朱雀の翼」は、小椋佳さんの作詞・作曲であり、また、翌年には、当時の本校の生徒、第 2 期生の高橋百合子さんが作詞、音楽の教員である渡邊泉先生の作曲により、「青春歌風になれ」が制定されたと伺っております。

どちらも「朱雀」と「南」という言葉を中心のイメージとして、「自由・責任・創造」の校風（スクールイメージ）を見事に歌い上げていると思います。県内初の総合学科高校としてスタートした本校に相応しいイメージではないでしょうか。創造すること、何かを作り出していくことは、本県が大震災からの復旧・復興を成し遂げていく過程において、単に元に戻すだけではなく新しいふくしまを築いていくこと、創造していくことにつながります。

県内初の総合学科校として歩み始めた本校の生徒は、**6つの系列のいずれかを選び、「自分だけの時間割」を作って学習に励み**、部活動においても、甲子園出場経験を持つ野球部をはじめ、ハンドボール部やチアリーダー部も全国大会の常連と言って良いと思いますが、**本校の「創造性」の象徴の一つが「テクノアートシンセサイザー部」の存在**だと考えます。私の知る限りでは、千葉萌陽高校にシンセサイザー部があると聞いておりますが、全国でもほとんど例を見ない大変ユニークな部活動です。他の高校ではやっていないことを、1 から作り上げてきた努力とエネルギーは大変なもので、改めて敬意を表したいと思います。

私たち教師、生徒、保護者、地域の方々、そして今は見知らぬ人達とも、互いに教え、教えられ、支え、支えられ、繋がっていることは、特にこの東日本大震災以降、私たちが強く感じていることであります。校歌に「集い合い支え合いして」とあるように、私たちは仲間なしに一人で生きていくことはできません。しかし、例えば、自分の進学する高校や大学を選び、公務員になるか民間に勤めるか、どのような仕事をするかを選択し、生涯の伴侶となる人を選ぶ、というように私たちの人生は何かを選び取ることの連続です。このような重要な選択をする時、周囲の人々の様々な温かい励ましやアドバイスがあるにしても、最終決断はたった一人でしなければなりません。生きることは、最後は孤独な営みだと思います。たくさんの選択肢の中から一つを選び取る、その決断をたった一人でする、それを絶えず繰り返していくことが生きていくことなのだと思います。

校歌の一節に「それぞれに星の輝き 集い合い星座をつくる」とあるように、一人ひとりが輝きを放ち、それぞれがつながりを持って星座になる。まさに孤独ではあるが孤独ではない、私たちの人生そのものが校歌に歌われているのです。

光南高校の生徒の皆さん、本校は、（前身の矢吹高校時代から数えると、66年間で約8,600名を越える生徒が卒業・修了し、）光南高校としてスタートしてからも19年間で約4,900名余の卒業生を数え、国内外の様々な分野で活躍していると伺っていますが、その先輩の方々や地域の皆さんが見守ってくれています。何よりも面倒見のよい先生方が皆さんを導いてくれるはずです。

本校創立の5年後に21世紀を迎えたわけですが、私たちの生きている時代は、もの凄いスピードで変化を続け、その流れは、ますます早くなっています。高校教育について言えば、近年の国による教育改革の動き、とりわけ大学入試改革と高等学校教育改革に関する動きからは目が離せない状況にあります。昨年12月の中央教育審議会答申以降、実行プランが策定され、様々な提言が矢継ぎ早に出ています。現在の中学1年生が、高校2年生になった段階で「高等学校基礎学力テスト」が始まり、高校3年生で現在の大学入試センター試験に代わる「大学入学希望者学力評価テスト」を受験することになるスケジュールが想定され、高大接続を含め、高校・大学の教育改革を一体的に進める国の教育改革の流れは、今までになく急ピッチで進んでいるのが現状です。

最後になりますが、光南高校の生徒の皆さん、皆さん一人ひとりの輝きが、先生や仲間とともに更に輝きを増し、南に向かって羽ばたく朱雀のように、遙か南から吹いてくる風に乗って、遙か南へと伸びていく道の上を、生涯飛び続けることを祈っています。また、30周年、50周年、更にその先へ向けた、光南高等学校の益々の発展をお祈り申し上げ、私のお祝いの言葉といたします。

本日は誠におめでとうございます。

光南高校 平成8（1996）年制定 作詞・作曲 小椋佳

校歌 朱雀の翼

- 一 南の空を 染める曙 阿武隈の 流れ清らか
新しい 風を起こして 頬紅き 朱雀羽ばたく
それぞれに 道を尋ねて 集い合い 支え合いして
旅立ちの 力磨こう
自由をかかげ 愛を抱きしめ 翼は今日も 茜色の 憧れを描く
- 二 光束ねて 那須の輝き 夕陽には 志新た
美しい 峰友として 胸熱き 朱雀舞い飛ぶ
それぞれに 星の輝き 集い合い 星座をつくる
創造の 夢を誓おう
自由をかかげ 愛を抱きしめ 翼は今日も 茜色の 憧れを描く

光南高校 平成9（1997）年制定 作詞 高橋百合子 作曲 渡邊 泉

青春歌 風になれ

- 一 羽ばたく朱雀は南の希望 光を集めて幾千の未来から
いざ自由の旅立ちは 我らを誘う風となる
光南 光南 風になれ 遙か南へと 吹いてゆけ
- 二 輝く水面の母なる川よ 明るき夢を明日へ紡ぐ者
いざ創造の豊かさは 我らが栄える道となる
光南 光南 道になれ 遙か南へと 伸びてゆけ
光南 光南 風になれ 遙か南から 吹いて来い